

ソーシャルアクティビティプログラム 6月8日 (土)

9:20-10:00 トーク

参加自由@2番街

クリエイティブサポートレッツ
「合理的配慮と意思決定支援
～アートの対話や表現から考える」

「病気があっても障害があってもよりよく生きることはできる。どう生きるのか。すべては手に入らないけれど何を大切に生きていくのか。その時一条の光となるのが『文化』だと私は思います。わかっただけを求めない。立ちはだかる社会との齟齬に真っ向から戦うのではなく、文化という術をもって自分も楽しみながら対話したい。」

11:50-12:20 コンサート

参加自由@2番街

マンドリンエレクトロン
「テルミンとマトリョミンのミニコンサート」

日本を代表するテルミン奏者・竹内正実。2016年コンサート出演中に脳出血を発症し、後遺症で右半身に麻痺が残る。2022年、左右の手の役割を入れ替え「左利き」テルミン奏者として、NHK大河ドラマの「大河紀行」においてテルミン演奏で参加。テルミンの機能をマトリョーシカに収め、片手で弾ける楽器マトリョミンを開発し、現在は脳卒中リハビリや認知症予防に活用する「認知症マトリョミン演奏サロン」を各地で実施しています。

15:50-17:20 ワークショップ

要申込・定員10名@3番街

Oibokkeshi「老いと演劇のワークショップ」

俳優で介護福祉士の菅原直樹を中心に、岡山県奈義町を拠点に活動しているOibokkeShi。「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、認知症の人とのコミュニケーションを考える演劇ワークショップを開催しています。実際に身体を使って演じることで、認知症ケアの気づきやヒントを講師と参加者間で共有していきます。演劇・介護経験、年齢等は一切不問です。どなたでも参加いただけます。

※定員に達し次第、申し込みを締め切ります。締切後は、右記にアクセスしてもフォームが開きませんのでご注意ください。

13:40-14:20 トーク

参加自由@2番街



ドゲーム 「障害者と健常者が一緒に学ぶこと／デンマークの福祉から日本でできることを考える」

デンマーク後で夢を意味する「ドゲーム」。18歳以上の誰でも学べるデンマークの全寮制学校フォルケホイスコーレで、障がいを持つ学生とそうでない学生が共同生活で学び合う留学を体験した人々で結成したグループ。デンマークの仕組みや現地の生活の様子を共有しながら、この経験を踏まえて障がいを持つ人とそうでない人が共に学ぶことの意義と日本でできることを考えていきます。

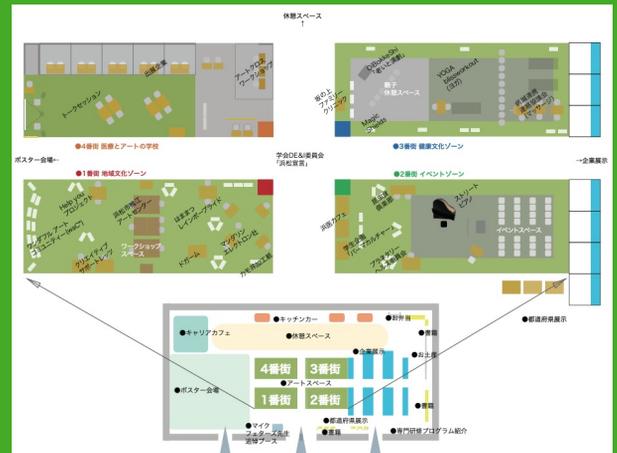
14:30-15:30 トーク

参加自由@2番街



はままつレインボープライド「LGBTQ当事者と医療者との対話（はままつレインボープライド×にじいろドクターズ）」

LGBTQ+ 当事者を通して、日常生活の中で困ることや苦しいこと、医療機関を受診した際の困り事、安心できた対応、どんな医療機関であれば安心して受診できるかを話していただきます。さらに、結婚の自由や性別変更の要件など、LGBTQ+ 当事者を取り巻く社会制度と医療の関係を考えていきます。最後には医療者へのメッセージも。

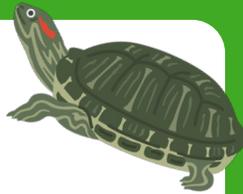


参加申し込みはこちらから→
<https://tinyurl.com/3pb3ah87>



ソーシャルアクティビティ プログラム 6月9日（日）

10:05-10:45 トーク
参加自由@2番街



昆虫食倶楽部

『『ガチ！生物多様性塾』の取り組みから考える～なぜ外来種は『駆除』しないといけないのか？～』

身近な自然を“まるごと味わう”イベント【とって食べる】、生物多様性について体験しながら学ぶ【ガチ！生物多様性塾】の取り組みを行う団体。浜松市・佐鳴湖ではミシシippアカミミガメの駆除を中心に外来生物対策活動も。私たちの生活にとってなぜ生物多様性が重要なのか、なぜ外来種は包摂されず、排除しないといけないのか？こうした問題解決に向けて対話や考えることを重視したガチ！生物多様性塾の取り組みの詳細をお話しいたします。

14:30-15:10 トーク
参加自由@2番街

パーマカルチャー

「パーマカルチャーとプライマリ・ヘルス・ケア」

パーマカルチャーデザイナーと医学生によるトークセッション。「パーマカルチャーとはなにか？」から始まり、パーマカルチャーを読み解きながらプライマリ・ヘルス・ケアとのつながり、今後の展望などについて探っていきます。

11:50-12:30
ピアノコンサート
参加自由
@2番街

10:55-11:35 トーク
参加自由@2番街



HELP YOUプロジェクト

「浜松市版多言語対応医療機関検索アプリの開発ー市民協働型の多文化共生啓発活動ー」

浜松市は人口の約3%、2万7千人が外国籍の全国有数の外国人集住都市。しかし、「病気になったら、どこのクリニックに行けばいいのかわからない」「外国人を受け入れてなくて、別のクリニックを紹介された」など、医療情報の入手の難しさ、患者・医療従事者の言語レベルのミスマッチといった課題があります。クラウドファンディングなどを活用し、市民の力で進めてきた、日本に暮らす全ての人が安心して病院を受診でき、医療従事者が安心して診察できる仕組み「多言語対応医療機関検索アプリ」の開発についてお話しいたします。

12:40-14:10 ワークショップ
参加自由@3番街

鴨江アートセンター「アトリエまぜまぜ」

浜松市の公立文化施設・鴨江アートセンターでは、2015年から家族のための造形の場「アトリエまぜまぜ」を開催。ワークショッププランナーの村松弘美が立ち上げた「ぶっとびアート」に、臨床心理士・公認心理師の笹田夕美子が加わりコンビを結成。用意されたテーマやお手本はなく、あるのは材料と道具と場所、そして承認と称賛。間違いや失敗のない、混沌とした場のなかで、それぞれの在り方で共存、承認し合う試み。どなたでも自由に参加いただけます。

13:30-14:20 トーク
参加自由@2番街

実行委員会キャリアカフェ

「育児、介護、仕事etc. ライフもワークも語りたい人集まりませんか??」

仕事を続けながら、さまざまな事情の真っ只中の人集まれ！ワンオペ（じゃなくても可）子育て真っ只中の方、介護やご自身の病気やその他の事情がある方、それぞれの事情でワークライフバランスにどう折り合いをつけ、いきいきとやっていく工夫があるのか。ざっくばらんに話してみませんか？

